

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2単位	学年	1学年
学科	全学科	コース		教科書	科学と人間生活（数研出版）		
副教材	科学と人間生活準拠サポートノート（数研出版）						
学習目標	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高め、これからの科学と人間生活との関わり方について考察させる。						

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
				知 技	思 判 表	主 体	
1 学 期	4月	序編「科学技術の発展」 生きる 人間生活の歴史	・科学技術の発展に伴って、今日の人間生活がどのように変化してきたかについて理解する。	◎	○	○	
	5月	第1編 物質の科学 第1章 材料とその再利用 ①金属と人間生活 ②身のまわりの金属と製錬 ③金属のさびとその防止	・金属やプラスチックの用途について、それぞれの性質や構造と関連付けて理解する。	◎	○	○	
	6月	④プラスチックとその性質 ⑤プラスチックの成りたち ⑥さまざまなプラスチック ⑦資源の再利用	・資源の有効活用について、現状の問題点を理解し、自分たちにできることを考察する。	○	◎	○	
	7月	第2編 生命の科学 第2章 微生物の利用 ①身のまわりの微生物 ②微生物とその発見の歴史	・微生物には特徴の異なるさまざまな生物が含まれることを理解する。	◎	○	○	
2 学 期	8月	③発酵食品への微生物の利用	・実験を通して、発酵食品や医薬品の製造に微生物が関わっていることを理解する。	○	◎	○	
	9月	④乳酸発酵とアルコール発酵					
	9月	⑤医薬品への微生物の利用					
	9月	⑥生態系における微生物 ⑦環境の浄化と微生物	・生態系における微生物の役割を説明できるようにし、汚水や環境の浄化に利用されていることに気づく。	◎	○	○	
	10月	第3編 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用 ①光の色 ②光の直進と反射	・目に見える光について、人間生活と関連付けて理解する。	◎	○	○	
3 学 期	11月	③光の屈折と全反射 ④光の分散と散乱 ⑤光の回折と干渉 ⑥電磁波 ⑦電磁波の利用	・実験を通して、光の色と波長の関係、基本的な光の進み方（光の直進性、光の速さ）について理解する。	○	◎	○	
	12月		・電磁波の分類について理解し、電波や赤外線等の電磁波がそれぞれどのように利用されているか調べる。	◎	○	○	
	1月	第4編 地球や宇宙の科学 第1章 太陽と地球 ①日本の四季と気象災害(1) ②日本の四季と気象災害(2) ③大気の大循環	・気象現象に興味をもち、日本に四季の変化がある理由や、季節によって起こりやすい気象災害について、日本周辺の気圧配置と関連づけて理解する。	◎	○	○	
	2月	④地球を出入りするエネルギー ⑤太陽の構造と太陽放射 ⑥天体の運動 ⑦天体の運動と海洋	・太陽や月などの身近にみられる天体の運動について、問題を見出し見通しをもって実験を行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察する。	○	◎	○	
	3月	終編 これからの科学と人間生活 課題研究の進め方	・科学研究の進め方や発表のしかたについて理解する。	○	○	◎	

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	定期考査に加え、小テストの成績やパフォーマンス課題、振り返りシートの取組などを総合的に評価する。
------	--